

# 半島湖畔にそびえる展望タワー



倉敷ダム入り口ゲートを通過し、真正面奥に高くそびえ立つ展望タワー。老朽化により閉館していましたが、令和4年10月に改装工事が完了し、一般開放しました。

倉敷ダムは周辺を弾薬庫保安区域として、米軍の軍用地境界線に含まれているため、貯水面監視のための管理用道路が設けられません。そのため、貯水池が見渡せるように展望タワーを建設し、さらにダム管理データを送る通信施設としての機能も果たしています。高さは41m！タワーに近づくにつれ、その大きさ・高さには圧倒されます。

最上階の展望室は、一般にも開放しており、貯水池はもちろんのこと、沖縄市の市街地や米軍の嘉手納飛行場、天気の良い日には太平洋と東シナ海まで眺望が広がります。

# 大人気スポット やんばるの川

倉敷ダムの大人気スポットです♪  
北部の4河川から水を導水しているため、川に生息する生き物の姿を見ることができ、自然の川砂利を使用し、水遊びができるようになっています。



# 倉敷ダム 祝 30周年

平成8年3月に供用開始してから、今年30周年を迎えました。利用者数は、約1,230万人となっており、小学校・保育園・学童等の遠足や社会見学などが多く、休日は、観光客や家族連れ、地域の方々によるレクリエーションなどの利用も多く、皆さんの憩いの場としても、幅広く利用され、その他にも、倉敷ダムまつりなどのイベントも行われました。



くらしき 4月

第 132 号  
令和 8 年 4 月  
中部土木事務所  
倉敷ダム管理所  
TEL 938-9325  
FAX 939-8923



(令和8年4月1日現在)  
貯水率:34.3%  
貯水量:2,025(千m<sup>3</sup>)

# ダムカード



ダムカードとは、ダムに関する基礎的な諸元から技術秘話に至るまで、様々な情報を提供する簡易版パンフレットとして配布しています。**ダムへの来訪者のみ原則1人1枚** 配布を行っています。

## DAM-DATA

所在地：左岸 沖縄県うるま市  
右岸 沖縄県沖縄市  
河川名：比謝川水系与那原川  
型式：ロックフィルダム  
ゲート：ゲートレス（自然越流方式）  
堤高・堤頂長：本ダム 33.5m・441m  
脇ダム 15m・200m  
総貯水容量：710万m<sup>3</sup>  
管理者：沖縄県  
本体工/完成：1989年/1995年



詳しいデータはこちら

**ランダム情報**  
倉敷ダムは、昭和36年に米軍によって建設された利水専用の瑞慶山ダムを、利水と治水の両目的を兼ねた多目的ダムとして再開発したダムで、国と沖縄県企業局の共同事業として昭和57年度より建設に着手し、総事業費490億円を投入し平成8年3月に完了しました。そして平成8年4月から沖縄県が管理しています。

**こだわり技術**  
管理庁舎や取水塔などの建物には沖縄の赤瓦を葺き、外壁は琉球石灰岩風に仕上げるなど、沖縄の風土を考慮した建築様式を取り入れた景観設計がなされています。

# クラトン

倉敷ダムのマスコットキャラクター「クラトン」です！  
ときどき、この倉敷ニュースにも登場しています。  
倉敷ダム周辺で多く見られる【ショウジョウトンボ】は、平地の沼地や流れの緩やかな河川に生息するトンボで、オスは成熟すると真っ赤になり、よく赤トンボと呼ばれます。歌に出てくる赤とんぼは【アカネトンボ】という沖縄には生息していない種類ですが、沖縄で言われる”赤トンボ”と言えば【ショウジョウトンボ】のことをさし、人々に親しまれていることから、倉敷ダムでも学習や憩いの場として多くの人々に親しんでもらえるようにと願い、【ショウジョウトンボ】をキャラクターモデルとしました。キャラクター愛称は、倉敷ダムの供用開始に合わせて一般公募を行い、審査の結果、「クラトン」として採用しました。



ショウジョウトンボ

アカネトンボ